

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成23年度分）

団体名：与謝野町

プロジェクト名	伝統を活かし未来にチャレンジする産業づくりプロジェクト	実施期間	H23～H29	テーマ	地域産業の育成	新規・継続の区分	新規
地域における現状、課題及び住民ニーズ	ライフスタイルの多様化や洋装化等による着物離れの影響を受け、当町の主要産品である丹後ちりめんの生産量は、最盛期の昭和48年に比べ約89%の減となっており、主要産品である織物業の衰退が顕著に現れ、長引く不況もあいまって地域経済も疲弊している現状である。 そのような時勢の中で、長い歴史により培われた織物技術を活かし、和装だけに捉われない新たな商品の開発や、日本の伝統文化の一つである着物の素晴らしさを全国にPRする活動等により織物業の活性化を図るとともに、当町のもう一つの主要産品である農林業、そして豊かな自然を活かした観光や商工業の分野でも振興を図ることで、長引く不況下で疲弊する地域経済の活性化が求められているところである。						
プロジェクトの目的及び概要	これまで培われた農林業、商工業、織物業、観光の基盤をもとに、「伝統を活かし未来にチャレンジする産業づくり」を目指し、各産品の振興を図るとともに、各産品が連携して新たな活路を見出し、活力が循環するまちづくりを目指す。						
	総事業費（千円）	232,966	本年度事業費（千円）	45,132	交付金額（千円）	16,846	
プロジェクトを構成する事業の平成23年度事業実績（出来高数値等）							
事業分類	事業名	事業種別	事業概要	主な実績（出来高数値等）			
市町村 実施事業	優良産品認定事業	交付対象事業	町内で製造し、販売される産品を優良産品として認定する	優良産品認定 新規：31品目認定、計101品目			
	与謝野自慢開催事業	関連事業	都市部で与謝野町PRを行う	10月15、16日に大阪府堺市で実施。約1,000人来場			
	観光宣伝事業	交付対象事業	観光分野で与謝野町のPRを行う	与謝野町の観光イメージを基に、キャリーバッグやクリアファイル等のPRグッズを作成。国民文化祭で配布。			
	観光施設整備事業	交付対象事業	観光施設の整備	大内峠一字観公園の整備など			
	クアハウス施設整備事業	交付対象事業	温泉施設の整備	温泉井戸メンテナンス、ポンプ整備など			
	実のなる森づくり事業	交付対象事業	有害鳥獣対策。植栽事業	3箇所実施 柿50、栗45、クヌギ20、コナラ20			
	食と健康の拠点施設運営事業	関連事業	食と健康をテーマにした施設の運営	平成23年10月リニューアルオープン			
住民 協働 事業	有害鳥獣防除施設設置事業	交付対象事業	有害鳥獣被害を防ぐための防除施設の設置	16箇所 施工延長約42,000m			
	自然循環型農業推進事業	交付対象事業	有機肥料による自然循環型農業の推進	京の豆っこ米の都市部量販店での店頭試食販売31回など			
	オータムフェスティバル開催事業	関連事業	町内で開催する観光・産業のPRイベント	11月13日に開催。約20,000人来場			
	体験型観光農園事業	関連事業	都市部の住民を対象とした体験型観光農園事業	次年度以降調整中			
	丹後ファッションウィーク開催事業	関連事業	丹後ちりめんの認知度向上を目指し事業展開を行う	10月12日～14日ジャパンクリエーション2012に参画。商談件数74件など			
住民が 取り組む 事業	無農薬・有機農業による安全な地域づくり事業	関連事業	この地域に合った無農薬栽培農法の研究を行う	概ね3ヵ年程度で成果を挙げるよう試験中。			

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成23年度分）

団体名：与謝野町

成果指標①	成果指標の目標数値	観光客の増 (H22の65.5万人をH24に114万人に増)		成果指標の実績値 (平成24年3月31日時点)	平成23年度66.2万人
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	道路事情の変化や景気悪化により伸び悩んでいる。平成21年度に策定した観光振興ビジョンの具体的な実行により、観光入込客数の増を図る。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	道路事情の変化や景気悪化による観光客の入込み数の大幅増が見込みにくい状況にあるため。	(時期)
成果指標②	成果指標の目標数値	ひとり当りの観光消費額の増加 (H22の537円をH24に570円に増)		成果指標の実績値 (平成24年3月31日時点)	平成23年度522円
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	道路事情の変化や景気悪化により伸び悩んでいる。平成21年度に策定した観光振興ビジョンの具体的な実行により、観光入込客数の増を図るとともに、優良製品のPRと販売促進、観光関連事業所間の連携体制を充実し、消費額の増加を図る。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	道路事情の変化や景気悪化による観光客の入込み数の大幅増が見込みにくい状況にあるため。	(時期)
成果指標③	成果指標の目標数値	農業担い手の確保 (H22に177人をH24までに183人に増)		成果指標の実績値 (平成24年3月31日時点)	171人
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	農業の担い手の高齢化などにより、若干の減少傾向にあるが、農業運営の形態も多様化する中、引き続き自然循環型農業の推進や有害鳥獣対策などの取り組みなどにより、農家のやりがいと効率的に農作業に集中できる環境づくりを行い、農業に従事者を増やすよう努める。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	農業の担い手の高齢化などにより、指標は減少傾向にあるが、今後はより効率的な農業運営を行えるように集落営農を取り入れ集約化を図るなど、農業運営の形態も多様化する中で、個別の件数の積上げである従前の指標を成果とするのは現状とマッチしないため、指標の見直しを行う必要がある。	(時期)
成果指標④	成果指標の目標数値	特色ある売れる米づくりの推進 (H22の146.8haをH24に183haに増)		成果指標の実績値 (平成24年3月31日時点)	平成23年度148ha
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	野田川・岩滝地域の各農家も『京の豆っこ米』の取り組みを徐々に拡大してきたため順調に推移してきたが、普及が一巡したこともあり、横ばいとなっている。新規で豆っこ米の栽培に取組む農家が増えるよう営農指導を強化するなど、取組強化を図る。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成23年度分）

団体名：与謝野町

<p>本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果</p> <p>※未達成の場合も効果を記載すること</p>	<p>観光客の増については、道路事業の変化や景気悪化などの影響で、近隣と比しても当町が伸び悩んでいるというのが実際ではあるが、平成21年度に策定した観光振興ビジョンによる具体的な取り組みが始まったばかりであり、今後、観光振興ビジョンに基づき、町と観光協会、地域住民が一体となった、観光振興基盤の形成に努め、新たな観光振興施策を推し進めていく。</p> <p>また、農業分野においては、自然循環型農業などの積極的な取組により、都市部の消費者にも支持されるような農産物を生産することができ、そのことが農家のやりがいに繋がり、農業従事者の増加に繋がることを期待する。</p> <p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。</p>	
<p>本プロジェクトに対する自己評価</p>	<p>関連事業との連携効果</p>	<p>交付対象事業で産業基盤の整備を行い、関連事業で住民や民間事業者と協働して与謝野町のPR事業等を行い、都市部での与謝野町や製品の認知度を高めている。</p>
	<p>府と市町村等との連携に資する成果</p>	<p>地域活性化に有効と思われる事業は府と連携して支援にあたった。</p>
	<p>住民の自治意識を高める成果</p>	<p>産業分野は住民生活にも大きく関わる分野であるため、住民自ら積極的に取り組む事業も多く、意識は高い。そういった事業に対して町が様々な支援を行うことで、住民の取組も活性化していく。</p>
	<p>リーディング・モデル成果</p>	<p>有害鳥獣対策の分野での新型檻開発、新たな無農薬栽培農法の研究等、特に農林業分野での新しい取り組みを行い、今ある問題の解決を積極的に行っている。</p>
	<p>広域的波及成果</p>	<p>産業分野は地産地消や循環型経済、自然循環型農業の推進など、地域全体に効果が還元できるような取組を目指している。</p>
	<p>行財政改革に資する成果</p>	<p>観光施設の改修整備などにより施設の長寿命化を図っている。</p>
	<p>その他の成果</p>	

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。